

実践事例フォーマット

学校名	山形県立山形養護学校
URL	http://www.jan.ne.jp/~yamayo-1/
障害種別	病弱
・実践事例 ・ワンポイントアイデア事例 (いずれかに をつけて下さい)	○実践事例 ワンポイントアイデア事例
タイトル	ホームページ作りを通した自立活動の学習
対象児童の状態 (個人情報に配慮してご記入下さい。)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 病名は神経症。小学校5年生時の人間関係のトラブルがもとで学校に行くことができなくなり、6年生の2学期に本校に転入した。 ・ 厳格な祖父母のもとでしっかりとしつけられており、社会規範に対する意識がとても強い。そのため、他人のルーズな言動に対しては敏感で、時として厳しい感情を抱くことがある。しかし、自分の気持ちを言葉に出して表すことが得意ではなく、不平・不満がもとで強いストレスを感じる。 ・ ストレスを上手に発散できずためこみ、母親への暴力という形で爆発することがある。 ・ 何かを選んだり自分で物事を決めたりすることが難しく、見通しのもてないことに対しては強い不安を感じる、 ・ 友だちと無理して接するよりは一人で手芸を楽しんだり、ハムスターの世話をしたりするほうを好む。 ・ 清潔に関する意識が強く、以前はズックに土がつくことさえも気にしていたことがあった。しかし、花植活動やハムスターの飼育を通して素手で土やハムスターのフンを扱えるようになった。 ・ 手芸や料理が好きで母親と一緒に作ったりすることも多いが、父親とのかかわりはあまり深くない。 ・ コンピュータについては小学部在籍時にパソコンクラブに入っていたこともあってだいぶ慣れており、興味、関心も高い。なお、本単元に入る前の段階でのコンピュータについての実態は次のとおりである。 電源のON/OFF・・・ 文字入力(ローマ字入力)・・・ 文書作成(ワード)・・・ 表計算(エクセル)・・・ インターネットの接続・・・ インターネットでの検索・・・ E-Mail・・・ ホームページづくり・・・ デジタルスキャンカメラを用いた画像処理・・・ データの保存・印刷・・・ (・・・自力で十分できる・・・支援が必要 ・・・学習をしていない)
キーワード (学校区分や、学年、教科などを含めない)	「情緒の安定」「対人関係の基礎の構築」 「コミュニケーション」

5 個)	
学部・学年(あるいは、授業を実施したグループの概要。対象となる児童生徒の特別なニーズの記述。)	中学部 1 年 生徒 A ・見通しを持って行動することにより心理的な安定を図ること。 ・情緒の安定により良好な対人関係の基礎を構築すること。
教科・領域区分	(自 立 活 動) 例) 国語、数学、理科、総合的な学習の時間、自立活動など。
授業者名	太田 典彦
授業実施期間(月日)	平成 1 2 年 1 1 月 2 8 日から平成 1 3 年 3 月 8 日
単元・題材名	ホームページ作りを通して自分の世界を広げよう
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ作りを通して達成感を味わい、情緒の安定を図る。 ・インターネットを通し交流の幅を広げ、良好な対人関係の基礎の構築を図る。 ・ホームページを通して自分の思いを他に伝え、円滑なコミュニケーションの能力を身につける。
メディア活用の意義	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットを通して多くの人と交流を図ることが可能なこと。 ・文章だけではなく、たくさんの写真やイラストなどを取り入れることにより、楽しんで学習に取り組めること。 ・対象生徒の場合、普段の会話では常に相手を意識するあまり思っていることをなかなか口にできないが、ホームページを通せば自由に自分の考えをあらわすことができること。 ・対象生徒が、特に漢字に対して苦手意識を強く抱いており、手書きの作文に対してはなかなかスムーズに取り組めなかったが、ワープロソフトを使用することにより漢字に対する抵抗が薄れ、意欲的に文を綴れるようになったこと。 ・インターネットを通せば、自分の作ったページを多くの人に見てもらうことができ、間接的ではあるが他の人との交流が可能となって自信の高揚につながる。 ・自分ひとりだけのホームページを作成することにより、達成感や満足感の感得を望めること。
メディア環境	a) 使用機種：NEC バリュースター PC - VC 8 0 0 J 5 F D b) 入出力装置：キーボード、マウス、デジタルスキャンカメラ(パナソニック PVDC 1 0 J Z), プリンタ(キャノン F 8 0 0) c) 稼動環境：Windows 9 8 S E d) 利用ソフト：IBM ホームペ - ジビルダー 2 0 0 1

単元の指導計画とコンピュータの活用等（特にコンピュータ等を活用した部分については詳細に記入して下さい。（ページを増やして記述して下さい）

指導計画（時間）	留意点
1 ホームページについての理解 （3時間）	対象生徒の興味や関心に応じて自由にホームページを閲覧させる。
2 下書き （2時間）	作ってみたいホームページのレイアウトを紙に描かせる。
3 ソフトの使い方を理解させる。 （1時間）	「ホームページビルダー2001」の使い方、およびホームページを作っていく手順などについて理解させる。
4 ホームページを作成させる。 （8時間）	下書きに基づいてホームページを作成させる。
5 できあがったホームページを公開させる。 （1時間）	本校のホームページ内に取り込み、一般に公開させる。

授業展開（ページを増やして記述して下さい）

学習活動・内容	留意点（活動への働きかけ・支援等）
1 ホームページについて知る。	いろいろなホームページを見て、イメージをつかませる。 学習に対する意欲の向上を図るために、対象生徒がふだん興味・関心を持っているサイトを中心に紹介する。 コンピュータに関する基本操作の復習もかねて学習させる。
2 作りたいホームページの構想を練る。	作りたいホームページのレイアウトを紙に書かせる。 内容について特に「～について」という枠は設けず、興味・関心に応じて自由に作らせていきたい。
3 ソフトの使い方を理解する。	「ホームページビルダー2001」の基本的な使い方について理解させるとともに、これから自分のホームページを作るための手順について説明し、見通しを持たせる。
4 ホームページづくりをする。	作成したレイアウトにあわせてホームページを作成させる。 各ページのレイアウトや配色、フォント等については対象生徒のできる範囲内で自由に選択させていく。 必要に応じて画像の取り込みや編集も行わせていく。 作成の過程で技術的な問題が生じたときには必要に応じて適宜支援していく。
5 できあがったホームページを公開する。	本校のホームページの中に取り入れ、一般に公開する。

上記 で実践された学習活動の実際(なるべく写真,ビデオを入れる):

学習の様子



<p>授業の成果 (その障害の特徴とその障害にコンピュータを利用する意義あるいはメリット)</p>	<p>自分の興味・関心に応じた、自分ひとりだけのホームページを作成するという事で学習に対し大変意欲的に取り組んでいる。 ホームページを通して、普段なかなか言葉に出してあらかわすことのできないようなことを表現することができ、満足そうな表情が見られる。 いろいろな人のホームページを見て、自分の感想を言葉に出してあらかわせるようになった。また、その作成者へのメールなどにも関心を持ち始めている。</p>
<p>ワンポイントアドバイス (今後の課題等)</p>	<p>今回使用したソフトは指導者にとっても初めてのソフトであった。そうしたソフトを学習に用いる場合にはあらかじめ指導者がそのソフトを実際に使って何かを作ってみるなどの十分な教材研究が必要である。</p>
<p>21. 参考資料・参考 URL など (協力者,協力団体含む)</p>	<p>特になし</p>